



結核しずおか

25号2009年9月25日

発行

財団法人 結核予防会静岡県支部

〒420-0915

静岡市葵区南瀬名町6-20

TEL 054-261-2512

FAX 054-261-9474

Eメール tb-shizu@topaz.ocn.ne.jp

発行責任者 鈴木美行

印刷 明和印刷株式会社



巻頭言

この度、山下英秋先生の後任として、若輩ながら副支部長を拝命いたしました。もともとは、呼吸器内科医として臨床に携わっておりましたが、ご縁あって平成10年より結核予防会に勤務することとなりました。

結核は、統計上は減少しているものの、過去の病気かといわれれば、決してそうではありません。医療先進国となったわが国ですが、かつては結核が猛威を振るい、多くの若い命が失われる結核高蔓延国でした。結核菌をもった方が高齢となり、抵抗力の落ちた状態で再燃するため、油断はできないのです。

また、結核はうつる病気として恐れられがちです。芸能人の罹患が報道されたり、集団感染が問題となったり、後ろめたいイメージもついて回ります。しかしながら、結核に感染した方も被害者です。結核菌の感染力はインフルエンザに比べれば低く、治療も確立されています。万一感染した場合は、きちんと治療を完遂する事が、最大の防御です。恐れすぎず、油断もせず、といったバランス感覚が大切です。

バランス感覚を持つためには、正しい知識の啓蒙が必要です。結核に限ったことではありません。日本は、先進国の中で、唯一エイズが増加している国です。禁煙運動に逆行し、若い女性の喫煙率が増加しています。覚せい剤の蔓延も問題です。正しい情報と知識の発信地でありたいと考えます。

規模の小さい当支部が誇れる点は、高い公益性にあります。安価なレントゲン1枚の情報から精密検査の必要な人を拾い上げ精度管理する、ご高齢者のレントゲンは色々な所見が多く、写真一枚で判断するのはオレンジの中に1つ混じったネーブルを見分けるようなもの、苦勞の多い仕事ですが、常に受診者のためにという姿勢で、全力を尽くす所存でございます。皆様方のご指導とご協力を賜りたく、何とぞよろしくお願い申し上げます。



財団法人結核予防会静岡県支部
副支部長 小林 健 司

19年	1.5	9.3	5.6	4.2	6.8	10.9
20年	1.6	7.4	7.7	5.0	7.1	12.4

市町保健センターの紹介

芝川町健康福祉課

芝川町は、富士川の河口から約12km遡ったところに位置しています。北西は天子ヶ岳の山麓を境に山梨県と接し、東部は富士宮市、南部は富士市及び静岡市と接しています。富士山を取り囲む山系の一つである天子山系の尾根に囲まれ、南北に細長く伸びた町域の8割は山林原野と河川が占めています。町の人口は、平成21年4月1日現在で9,716人、高齢化率は26.6%、平成20年度の出生数は65人であり、少子高齢化の町です。

大自然に囲まれた芝川町では、保健師5人、栄養士1人が勤務しています。平成20年度の特定健診・特定保健指導の開始に伴い、保健福祉センターから、役場庁舎内に席を移し、国保担当者等の関係職員と連携を取りながら事業を実施しています。

保健事業を行っていく上で感じる芝川町の一番の特色は、“住民との距離がとても近い”ということです。

週に2回、保健センターで行っている「すくすく広場」は、就園前のお子さんと保護者が対象で、毎回多くのお子さんたちが遊びに来ます。子どもの数が少ない芝川町では、ここが親子の交流の場であり、悩み事を保健師・栄養士・保育士に相談できる場にもなっています。

また、お年寄りを対象に行っている寿大学では、保健師・栄養士が講師となり、寸劇を交えた健康教育を行い、健康相談事業では、「移動健康相談」と称して、相談車で町内を巡回して血圧測定などの健康相談を行っています。移動健康相談は、小規模な芝川町ならではの事業ではないかと思えます。さらに、年2クール実施している介護予防事業「加齢なる筋トレ教室」は平成16年度から実施している高齢者の筋トレ教室ですが、この教室も毎年多くの方の参加があります。現在では教室参加者のOB会（自主活動）も3グループでき、毎週参加者の元気な掛け声が保健センターに響いています。

これからも住民の健康増進のため、職員一同頑張っていきたいと思えます。



芝川町健康福祉課 係長 望月 哲也

全国・静岡県の結核の統計

(『結核の統計』より抜粋)

平成20年末現在の本県の結核登録患者は、前年に比べて21人減少し、1540人になり、平成20年における新登録患者数は、前年と比較し40人減少し、622人になりました。

新登録患者の年齢構成は60歳以上の割合が70%を超え、免疫力が低下している高齢者の方は、定期健康診断や日ごろの健康チェックが大切になります。

1. 結核登録患者

(人)

区分 年次	年末現在登録者数				年内新登録患者数			
	全国		本県		全国		本県	
	患者数	10万人対 (登録率)	患者数	10万人対 (登録率)	患者数	10万人対 (罹患率)	患者数	10万人対 (罹患率)
昭和36年	1,615,099	1717.1	38,692	1391.1	419,424	445.9	12,235	439.9
50年	726,862	649.6	16,695	504.6	108,088	96.6	2,751	83.1
平成15年	77,211	60.5	1,854	48.9	31,638	24.8	852	22.5
16年	72,079	56.4	1,853	48.8	29,736	23.3	874	23.0
17年	68,508	53.6	1,725	45.5	28,319	22.2	735	19.4
18年	65,695	51.4	1,564	41.2	26,384	20.6	765	20.2
19年	63,556	49.7	1,561	41.1	25,311	19.8	662	17.4
20年	62,244	48.7	1,540	40.5	24,760	19.4	622	16.4

2. 結核死亡者数

(人)

年次	全国	本県	死因順位・全国
昭和36年	27,916	652	7位
40年	22,366	560	7
60年	4,692	126	16
平成15年	2,337	61	25
16年	2,328	57	25
17年	2,295	67	25
18年	2,267	75	26
19年	2,188	67	27
20年	2,216	64	25

*平成20年は概数

(人口動態統計による)

平成19年における罹患率

(治療が必要な者：10万人対) による各県の状況

- 罹患率の低い県： 福島県7.6 岩手県8.2
山梨県8.8 島根県8.9
長野県8.9
- 罹患率の高い都府県： 大阪府28.6 東京都22.0
長崎県20.6 京都府18.7
愛知県18.1

★静岡県13.6 順位は低い方から20番目

3. 新登録患者年齢構成 (静岡県)

(%)

区分 年次	年齢別構成率						
	～19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳～
昭和36年	20.0	15.9	18.3	13.2	13.4	12.6	6.6
60年	2.9	5.8	6.4	10.3	17.4	22.3	34.9
平成15年	0.7	6.7	6.9	4.3	8.6	13.9	58.9
16年	1.4	7.3	6.9	3.7	8.0	13.3	59.4
17年	1.2	6.3	6.1	4.8	9.8	13.2	58.6
18年	1.0	7.2	5.8	5.6	8.5	13.1	58.8
19年	1.5	8.3	5.6	4.2	6.8	10.9	62.7
20年	1.6	7.4	7.7	5.0	7.1	12.4	58.8



結核予防・根絶に向けて

私たち伊東支部は、『結核は過去の病気ではなく、我が国最大の感染症であると住民に認識させる。』目的で、『複十字シール・街頭募金・キャンペーンの意義を研修して活動を展開する。』という目標を持って活動しています。

各地区選出の会員が現在189名、例年4月に総会を開催し、7月には支部のリーダー研修会も行われ会員の親睦を深め、活動へのよりいっそうの意欲を高めています。

また、例年11月末には市内7会場にていっせいに募金活動を行って市民の関心を高め、交流の場にもなっております。その他にも各コミュニティセンターの祭事や、各地区の運動会などにも出向き、募金活動や啓発運動を行っています。

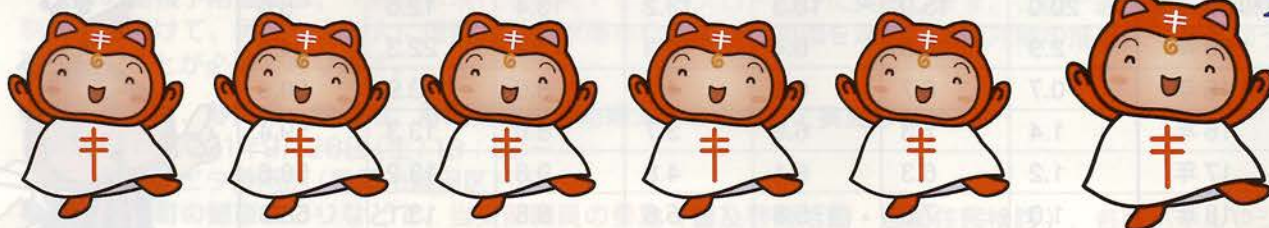
そのような活動の中で、7月29日には、複十字シール運動に先駆け、初めて伊東の佃市長を土屋会長並びに支部長以下4名の役員と共に表敬訪問いたしました。土屋会長が「県内では昨年622人が発病し、64人が亡くなっている。結核は無くなっていない怖い病気。軽んじないで町内の人にも理解してもらい、募金に協力して欲しい。」呼びかけられ、佃市長より「結核自体を忘れていない人もあるので、どんどん運動を進めていただきたい。」と激励のお言葉をいただきました。そして、市役所内に、【結核をなくそう】ののぼり旗の設置と募金箱の常設をしていただけることになり、とても有意義な訪問となりました。

また、その他の活動として、昔製作したウデ人形劇「結核は生きている」の再演も理事を中心に着々と準備を進めている最中です。

これからも会員一同、結核予防・根絶に向けて努力を続けていく所存です。



ご協力お願いします♪



静岡県結核予防婦人会 伊東支部長 山田美恵子

平成21年度静岡県結核予防婦人会理事会及び総会の開催報告



『平成21年度静岡県結核予防婦人会理事会（支部長・事務局担当職員合同会議）及び総会』を開催しましたのでご報告いたします。

理事会

日時	平成21年6月30日（火） 午前10時30分～
会場	静岡県男女共同参画センター あざれあ 2階 大会議室
議題	第1号議案 平成20年度事業報告及び収支決算について 第2号議案 平成21年度事業計画及び収支予算について 第1号・第2号議案について審議し原案のとおり承認されました。
支部長・事務局担当職員合同議	
(1) 最近の結核の発生状況等について（静岡県疾病対策室）	
(2) 平成21年度複十字シール募金運動について	
(3) 第13回結核予防関係婦人団体中央講習会出席者の概要報告	

総会

日時	同日 午後1時～
会場	同会場
議事	第1号議案 平成20年度収支補正予算について 第2号議案 平成20年度事業報告及び収支決算について 第3号議案 平成21年度事業計画及び収支予算について 第1号・第2号・第3議案について審議し原案のとおり承認されました。
終了後	
報告事項『広めよう複十字シール運動』 複十字シール運動の普及啓発方法における問題点やノウハウについて報告	



**ACJAPANの
支援始まる！**

平成21年7月1日から全国的に、ストップ結核大使の
ビートたけし氏による**テレビ・ラジオ・新聞・ポスターの
4媒体にて**広告の支援キャンペーンが始まりました。



複十字シール運動に ご協力をお願いします

運動期間 8月1日～12月31日

募金目標額 **1600万円**



結核などの胸の病気を制圧するため、複十字シールを通じて事業資金を集めるために積極的に募金活動を行っています。

皆様の温かい善意の募金は、結核予防思想の啓発活動、検診車購入積立資金、さらには発展途上国の結核対策援助等の諸事業に充当しています。

今年も複十字シール募金へのご協力をお願いいたします。

●複十字シールの歴史



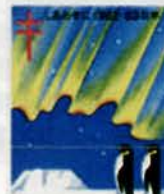
1953年



1963年



1973年



1982年



1998年



お問い合わせは

財団法人結核予防会静岡県支部

住所：〒420-0915 静岡市葵区南瀬名町6-20

電話：054-261-2512(代)

E-mail tb-shizu@topaz.ocn.ne.jp

URL <http://www.jatahq.org> (財団法人結核予防会)

結核予防週間によせて

平成21年9月24日(木)～30日(水)

わが国の結核の現状は、平成20年中に新たに結核患者として登録された人は24,760人で、2,216人が亡くなっており、世界の中では依然として結核の中まん延国として位置付けられていることから、引き続き十分な注意が必要です。

今年の結核予防週間は、『結核は現代の病気です』をスローガンに実施します。この一週間を、「結核の制圧」に向けて、国民一人一人に理解と協力が得られるように知識を深め、結核対策の推進に一丸となって取り組むことが必要であります。

●当支部では、静岡県、静岡市、静岡県結核予防婦人会と協力して実施します。

実施日：平成21年9月26日(土) 13:00～

場所：アピタ静岡店(静岡市駿河区石田)

●県・各市町の健康まつりなどで、当支部職員の参加(普及啓発活動・追加住民検診)、各種パネルやシールぼうやの着ぐるみを貸し出しています。

→お問い合わせは、総務部 鈴木まで

平成20年度 結核予防会・対がん協会共催 診療放射線技師研修会を振り返って

平成21年3月11日（水）～13日（金）、東京都清瀬市にある結核研究所で財団法人結核予防会と財団法人日本対がん協会の共催による診療放射線技師研修会が開催されました。

この研修会は毎年3月に北は北海道から南は沖縄まで全国のいろいろな施設の方々が一堂に集まり開催されます。

今回の研修会では3日間という短期間に9つの講演とグループ討論会・胃フィルム評価会が開催され、とてもハードな時間内容ではありましたが、会場は非常に真剣で一つでも多くのことを学びとろうという姿勢と意気込みに溢れ、広い部屋が狭く感じられるくらいでした。

グループ討論会や胃フィルム評価会では、それぞれの施設ごとに意見を述べあう時間が設けられ、普段こういった他施設の方々と意見交換をする機会というのはあまり無いため、これらの時間は大変貴重で有意義なものとなり、また大変勉強になりました。

〈平成20年度 診療放射線技師研修会〉

● 3月11日

- ① グループ討論会 胃部・胸部・乳房撮影等
- ② がんの予防 前立腺がんについて
- ③ 肺がんの診断 — CT画像の読影トレーニング —
- ④ がん対策基本法とがん検診の科学的検証

● 3月12日

- ① 医療制度概略・画像診断論点・医療安全
- ② 被検者に対する放射線被曝の考え方
- ③ 3D・CGで学ぶ肺の解剖と臨床
- ④ 乳がん精密検査
- ⑤ 組織特性からみた早期胃癌のX線診断

● 3月13日

- ① 胃X線フィルム評価
- ② 胃X線写真の読影



これからの日本は4人に1人は65歳という世界が経験したことの無い高齢化社会を迎えようとしています。少子高齢化により保険料の収入は減り支出は増え、ますますの財政悪化が予想されます。現在医療費は経済成長を上回る3～4%程度の伸びがあり、このままで行くと支出拡大による財政破綻、日本が世界に誇る国民皆保険制度が崩壊の危機になどという言葉も残念ながらそれほど大袈裟には聞こえなくなりつつあるのが現実です。

行政のほうも全体的にみてお金がかかる医療の世界で対応するより、その前の予防の世界で対応しようとしています。

このような今後の医療はといった話題も意見交換の話題のなかで持ち上がりました。医療から予防へという思いとは裏腹に、がん検診の受診率は決して高いものとは言えません。

自覚症状のある方は早目の病院への受診を。

そして自覚症状の無い方にこそ年に1度のがん検診を受けてほしいものです。

けんこう 診断

豆知識

検診と健診の違い

- (がん)検診は、がんを早期に発見し、がん死亡を防ぎ、対象年齢のがん死亡率を減少させることを目的とする。
- (特定)健診は、生活習慣病を中心として、対象者の健康度をチェックし、保健指導によって医療費の削減を目的とする。

検診部 診療放射線技師 宮崎

結核予防会出版



書籍のご案内



1 「保健師・看護師の結核展望93号」

8月17日発行 定価 1,995円（税込）

特集) ♣ BCG接種制度改正 その後 / BCG複反応コッホ減少
♣ 気づこう・築こうTB/HIVパートナーシップ

➔ 保健師・看護師の結核展望は**定期購読**が利用できます!

2 「医師・看護師のための結核病学 第4巻 治療② 平成21年改訂」

8月17日発行 定価 1,260円（税込）

ISBN 978-4-87451-248-7

科学療法開始時と治療中の検査や、結核患者入院勧告時のインフォームドコンセント、DOTS戦略の生成と確立、わが国の「DOTS事業」、結核治療成績の評価など、分かりやすい解説書です。

ぜひ、この機会に結核病学シリーズをお求め下さい。

3 「結核の統計 2009」

9月末頃発行 定価 3,150円（税込）

ISBN 978-4-87451-260-9

お問合せ……



- ❖ 書籍の注文および出版案内をご希望の方は
（財）結核予防会静岡県支部までお問合せ下さい。担当：杉山
TEL：054-261-2512 FAX：054-261-9474
- ❖ HPでは最新情報を掲載しております。どうぞご利用ください。
HP：<http://www.jatahq.org>

編集後記

静岡県を退職し、（財）結核予防会静岡県支部に再就職して既に5ヶ月が経過しました。退職前は現在人材不足などで話題となっている介護保険などの高齢者対策をしてきましたが、結核のことは何も知りませんでした。こちらに来て、県下で毎年数百人の方が結核に罹患している現実を知り、県支部が行っている検診業務の重要性を改めて認識したところです。県下の住民検診の受診率の向上を目指し、市や町の担当者の方々と知恵を出し、住民の方々がさらに受診しやすい方法を考えてまいります。

常務理事兼事務局長 鈴木美行

題字：田中隆（元支部職員） 表紙撮影：村木弘知（元県職員）